

MongoDBをインストールする

MongoDBはドキュメント指向のデータベース管理システムです。最も人気のあるNoSQLデータベースシステムです。

施設

このコースでは、「Mongo」コンテナについて説明します。これをインストールするには、次のコマンドを使用します。

```
docker run --name コンテナ名 -d -p 27018:27017 mongo
```

安全な

デフォルトでは、Mongo データベースにはユーザーがいません。誰でも制限なくアクセスできます。

接続を安全にするには、ユーザーを作成し、その使用に必要な権限を付与する必要があります。

Docker経由

コンテナを作成するときに、次の環境変数を追加することでこれを行うこともできます。

```
docker run --name コンテナ名 -d -e -p 27018:27017  
MONGO_INITDB_ROOT_USERNAME=ユーザー名 -e MONGO_INITDB_ROOT_PASSWORD=パスワード mongo
```

これにより、「ルート」ロールのユーザーが作成され、そのユーザーはすべての権限を持ち、同時に資格情報なしで接続しようとするユーザーによるすべてのコマンドへのアクセスが防止されます。

別のユーザーを追加

ルートユーザーには完全な権限が付与されています。本番環境で権限を制限したユーザーが必要な場合は、以下の手順で作成できます。

```
# コンテナに接続します:  
docker exec -it コンテナ名 bash  
# データベースに接続します: mongosh -u root -p  
  
# 管理データベースに移動します:  
管理者を使用する  
# 新しいユーザーを作成します:  
db.createUser({user:"username", pwd:"password", roles:[{role:"nameRole", db:"nameDB"}]})
```

考えられるさまざまな役割には、次のようなものがあります。

- 読む
- 読み書き
- dbAdmin
- dbオーナー
- ユーザー管理者
- 根